

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-032462

(43)Date of publication of application : 31.01.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-219285

(71)Applicant : CITATION JAPAN:KK

(22)Date of filing : 19.07.2000

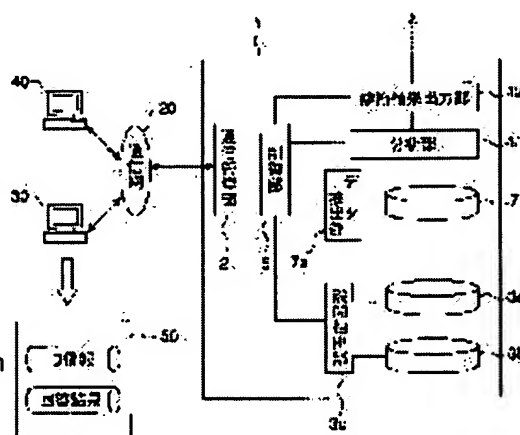
(72)Inventor : TAKENO TERUYUKI
OGAWA TADASHI
SUGAWARA KATSUHISA

(54) SYSTEM AND METHOD FOR MATCHING DIAGNOSIS

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To efficiently take various diagnoses by storing basic question setting items regarding personal properties that an individual has so that they can be always referred to when necessary and adequately using the stored contents.

SOLUTION: This diagnosing device is a diagnosing device which diagnoses adaptivity between a person and a person, a person and a body, a person and a company, etc., and has applied question setting providing parts 3b and 3c which provide applied question settings generated by objects of diagnosis, an analysis part 10 which extracts an answer result needed for actual diagnoses from answer results to the predetermined basic question setting items and takes an analysis in combination with answer results to the question settings provided by the applied question setting providing parts, and a diagnosis result output part 12 which outputs diagnosis results regarding the adaptivity according to the analysis result of the analysis part.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

BEST AVAILABLE COPY

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-32462

(P2002-32462A)

(43) 公開日 平成14年1月31日 (2002.1.31)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

1 2 4

F I

G 0 6 F 17/60

テーマワード (参考)

1 2 4 5 B 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-219285 (P2000-219285)

(22) 出願日 平成12年7月19日 (2000.7.19)

(71) 出願人 399045396

株式会社シタシオンジャパン

東京都台東区寿3丁目15番15号

(72) 発明者 竹野 輝之

東京都台東区寿3丁目15番15号 株式会社

シタシオンジャパン内

(72) 発明者 小川 忠

東京都台東区寿3丁目15番15号 株式会社

シタシオンジャパン内

(74) 代理人 100097559

弁理士 水野 浩司 (外1名)

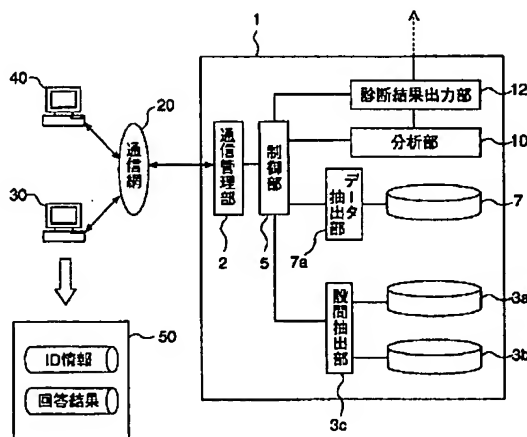
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 マッチング診断システム及びマッチング診断方法

(57) 【要約】

【課題】 各人が備えている個人属性に関する基本的な設問事項を、必要なときに随時参照可能となるよう記憶しておき、この記憶した内容を適宜利用できるようなすることによって、各種の診断を効率的に行えるようにする。

【解決手段】 本発明の診断装置は、人と人、人と物、人と企業等の適合度を診断する診断装置であって、診断希望者に対して、診断対象毎に作成された応用的な設問を提供する応用設問提供部3b、3cと、診断希望者から、予め得られている基本的な設問事項に対する回答結果の内、実際の診断に必要とされる回答結果の抽出を行い、応用設問提供部で提供された設問に対する回答結果と併せて分析を行う分析部10と、この分析部での分析結果を基に、前記適合度に関する診断結果を出力する診断結果出力部12とを有することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 人と人、人と物、人と企業等の適合度を診断する診断装置であって、

診断希望者に対して、診断対象毎に作成された応用的な設問を提供する応用設問提供部と、

前記診断希望者から、予め得られている基本的な設問事項に対する回答結果の内、実際の診断に必要とされる回答結果の抽出を行い、前記応用設問提供部で提供された設問に対する回答結果と併せて分析を行う分析部と、

この分析部での分析結果を基に、前記適合度に関する診断結果を出力する診断結果出力部とを有することを特徴とするマッチング診断システムにおける診断装置。

【請求項 2】 前記基本的な設問事項に対する回答結果は、前記診断希望者が所有する記憶媒体に記憶されたものであり、

前記した実際の診断に必要とされる回答結果は、前記記憶媒体から抽出を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の診断装置。

【請求項 3】 前記基本的な設問事項に対する回答結果を格納するデータベースを有しており、前記した実際の診断に必要とされる回答結果は、前記データベースから抽出を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の診断装置。

【請求項 4】 前記応用的な設問に対する回答結果を蓄積、保存するデータベースを有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の診断装置。

【請求項 5】 人と人、人と物、人と企業等の適合度を診断する診断装置であって、

診断希望者から予め得られている基本的な設問事項に対する回答結果の内、実際の診断に必要とされる回答結果を抽出して、診断対象物との適合度に関する分析を行う分析部と、

この分析部での分析結果を基に、前記適合度に関する診断結果を出力する診断結果出力部とを有することを特徴とするマッチング診断システムにおける診断装置。

【請求項 6】 前記基本的な設問事項に対する回答結果は、前記診断希望者が所有する記憶媒体に記憶されたものであり、

前記した実際の診断に必要とされる回答結果は、前記記憶媒体から抽出を行うことを特徴とする請求項 5 に記載の診断装置。

【請求項 7】 人と人、人と物、人と企業等の適合度を診断する診断システムに用いられ、診断希望者が備えている個人属性に関する要素を炙り出す設問事項に対する回答結果が格納されたことを特徴とする適合度診断システム用の記憶媒体。

【請求項 8】 前記設問事項および回答結果は、書き換え可能であることを特徴とする請求項 7 に記載の適合度診断システム用の記憶媒体。

【請求項 9】 人と人、人と物、人と企業等の適合度を

診断する診断方法であって、

診断希望者に対して基本的な設問事項を提供し、その回答結果を得る第 1 回答結果取得工程と、

診断対象毎に作成された応用的な設問を提供し、その回答結果を得る第 2 回答結果取得工程と、

前記第 1 回答結果取得工程で得られた回答結果から、必要とされる回答結果の抽出を行い、前記第 2 回答結果取得工程で得られた回答結果と併せて分析を行う分析工程と、

この分析工程での分析結果を基に、前記適合度に関する診断結果を出力する診断結果出力工程とを有することを特徴とするマッチング診断システムにおける診断方法。

【請求項 10】 前記診断希望者に対して提供される基本的な設問事項は、多数の設問を収容しているデータベースから、診断対象物に従って抽出されることを特徴とする請求項 9 に記載のマッチング診断システムにおける診断方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、人と人、人と物、人と企業等の適合度（マッチング）を自動的に診断するマッチング診断システムおよびマッチング診断方法に関する。

【0002】

【従来の技術および課題】現在行われているウェブ上での各種の診断、例えば、人と人、人と物、人と企業の適合度を診断するシステムでは、診断に必要な評価項目について、診断を行う毎に測定（設問の提供）を行っている。このため、例えば、ある購買希望者が異なる製品群（物）についてマッチングに関する診断を必要とする場合、それぞれの製品群について多数の設問事項に回答する必要がある。

【0003】また、ある企業 A は、基本的な人物特性分析で就職希望者の採否を決定しようとし、別の企業 B は、基本的な人物特性分析に加えて、専門的人物特性を行って就職希望者の採否を決定しようとする場合、企業 A または企業 B のいずれかに就職を希望して採用試験を受ける者は、基本的な人物特性を分析するための類似した設問群に、各企業毎に重複した回答をしている。

【0004】ところで、各人が備えている個人属性（心理的な要素、性格的な要素、行動傾向等）に関しては、そのコアとなるものはある程度特定されている。従って、従来、様々な場面で行われている各種の診断方法は、重複した設問形式を出題して被験者に回答させている場合が多い。このため、診断方法としては非効率的であり、また、ユーザにとっては、類似した設問事項にその都度回答しなければならない等、負担が大きい。

【0005】本発明は、各人が備えている個人属性に関する基本的な設問事項を、必要なときに随時参照可能となるよう記憶しておき、この記憶した内容を適宜利用で

きるようにすることによって、各種の診断を効率的に行えるようにすることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明に係るマッチング診断システムにおける診断装置は、診断希望者に対して、診断対象毎に作成された応用的な設問を提供する応用設問提供部と、前記診断希望者から、予め得られている基本的な設問事項に対する回答結果の内、実際の診断に必要とされる回答結果の抽出を行い、前記応用設問提供部で提供された設問に対する回答結果と併せて分析を行う分析部と、この分析部での分析結果を基に、前記適合度に関する診断結果を出力する診断結果出力部とを有することを特徴としている。

【0007】また、本発明に係るマッチング診断システムにおける診断装置は、診断希望者から予め得られている基本的な設問事項に対する回答結果の内、実際の診断に必要とされる回答結果を抽出して、診断対象物との適合度に関する分析を行う分析部と、この分析部での分析結果を基に、前記適合度に関する診断結果を出力する診断結果出力部とを有することを特徴としている。

【0008】また、本発明に係るマッチング診断システムにおいては、診断希望者が備えている個人属性に関する要素を炙り出す設問事項に対する回答結果を、診断希望者が携帯可能となるように、記憶媒体に記憶させたことを特徴としている。

【0009】また、本発明に係るマッチング診断システムにおける診断方法は、診断希望者に対して基本的な設問事項を提供し、その回答結果を得る第1回答結果取得工程と、診断対象毎に作成された応用的な設問を提供し、その回答結果を得る第2回答結果取得工程と、前記第1回答結果取得工程で得られた回答結果から、必要とされる回答結果の抽出を行い、前記第2回答結果取得工程で得られた回答結果と併せて分析を行う分析工程と、この分析工程での分析結果を基に、前記適合度に関する診断結果を出力する診断結果出力工程とを有することを特徴としている。

【0010】

【発明の概要】最初、ユーザ毎に、各人が備えている個人属性を炙り出すのに必要とされる基本的な設問（ここでは、このような設問を「基本設問」と定義する）を提供し、これについての回答結果を記憶手段に予め記憶しておく。

【0011】上記基本設問とは、例えば、その人の「気質・性格」、「指向性」、「態度傾向」等を炙り出すのに必要な設問であり、被験者にとって、そのときの気分や状態に影響されないものが該当する。具体的には、その人の神経質の度合いに関するもの、コンプレックス（優越コンプレックス、劣等コンプレックス）に関するもの、内罰・外罰に関するもの等が挙げられ、これらの要素（基本要素とする）は、そのときの気分や状況で変

化するものでないことから、予めその回答結果を記憶手段に記憶しておき、必要に応じて、その結果を利用可能にしておく。

【0012】なお、このような基本設問は、診断が行われる様々な分野に応じて作成することができ、例えば、ビジネス分野に関するものであれば、「ビジネス行動習慣」や「対人傾向」等を炙り出すのに必要な設問が挙げられる。そして、以上のような基本設問事項については、人と人、人と物、人と企業のように、具体的に診断が行われる相互の適合度について、あらかじめ標準化しておくことが好ましい。

【0013】これに対し、実際の診断を行うに際しては、上記したような基本的設問の回答結果では得ることのできない要素がある。例えば、情緒的な意味での安定性、持続性、あるいは粘り強さ、記憶力、嗜好性に関するもののように、そのときの気分や状態に左右されることが大きい要素（変動要素とする）が存在する。このような要素を炙り出すために必要とされる設問（ここでは、このような設問を「応用設問」と定義する）については、診断対象毎に作成しておき、必要に応じて被験者に対して試験を行い、その回答結果については必要に応じてデータベース等に蓄積しておく。

【0014】そして、予め記憶されている基本設問に対する回答結果の内、実際の診断毎に必要なものを抽出し、これを必要に応じて、応用設問に対する回答結果と併せて分析を行うことで、診断効率を高めると共に診断精度の向上を図る。

【0015】なお、上記した基本設問を提供する手段については、例えばインターネット等の通信網を解して、診断を希望するユーザの端末（パソコン、携帯電話等）に配信したり、ICカードとして提供する方法等が挙げられ、そのような基本設問事項に対する回答結果を記憶しておく記憶手段としては、前記通信網に接続されているサーバ（診断装置）内のデータベース、各人が所有するパソコン内のデータベース、あるいはICカードやCD-ROMのように、携帯性のある記憶媒体等が挙げられる。

【0016】具体的な利用例については、例えば、基本設問事項に対する回答結果が記憶されているデータベースや記憶媒体を、そのユーザが希望する商品（診断という商品であり、例えば、就職に関するもの、恋愛や相性に関するもの、購入製品に関するもの、遊び、趣味、イベント等のライフスタイルに関するもの等）に係るものと接続し、そこで得られる応用設問事項に対する回答結果と併せて分析を行うことで、そのユーザと商品との適合度について、最適な診断結果を得るようにする。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を具体的に説明する。図1において、符号1は、診断希望者に対して、実際の診断を行う診断装置を示す。この装置1

は、通信管理部2を介してインターネットのような通信網20に接続されていると共に、そのときの気分や状態に影響されることがない要素を炙り出すのに必要とされる多数の設問（基本設問）を備えたデータベース3aと、そのときの気分や状態に左右されることが大きい要素を炙り出すのに必要とされる多数の設問（応用設問）を備えたデータベース3bを備えている。各データベース3a、3bは、設問抽出部3cと接続されており、装置全体を制御する制御部5及び前記通信管理部2を介して、前記通信網20に接続されている多数の端末（診断希望者が所有する端末）30に、所定の設問事項を配信可能となっている。

【0018】すなわち、端末30から診断装置1に対して診断希望のアクセスがあった際、まず、その診断希望商品に適した設問（基本設問）を設問抽出部3cによってデータベース3aから抽出し、アクセスのあった端末30に対して配信する。そして、端末30の所有者（診断希望者）からの、提供した設問事項に対する回答結果は、ID情報と共に回答履歴データベース7に保存しておく。

【0019】このように、データベース7には、様々な診断希望者について、夫々の基本設問に対する回答結果が蓄積されて行く。

【0020】なお、上記基本設問は、診断希望者の動機に応じて、その設問事項を階層化して提供することが可能である。例えば、人と企業のマッチングであれば、診断希望者の主動機が「とりあえず自分にあった仕事に就きたい」のようなものであれば、気質・性格、志向性、態度傾向等に関するものが炙り出せるような基本設問を提供するようにし、主動機が、上記動機に加えて「より自分らしく働ける仕事に就きたい」のようなものであれば、上記の設問項目に加えて、価値観、ビジネス行動習慣、対人傾向に関するものが炙り出せるような基本設問を提供する等、企業毎、職種毎等に応じて、基本設問を階層化しておくこともできる。

【0021】そして、基本設問に対して回答を行った診断希望者が、具体的な希望診断商品について最適な診断結果を必要とすべく、端末30を介してアクセスしてきた場合、その希望診断商品に適した設問（応用設問）を設問抽出部3cによってデータベース3bから抽出し、アクセスのあった端末30に対して配信する。

【0022】この場合、上記応用設問は、更に診断の精度を高めるものであり、例えば人と企業のマッチングに関して、診断希望者の主動機が、上記した2つの動機に加え「自分の可能性を広げられる仕事に就きたい」のようなものであれば、持続性、行動精度、認知・判断傾向、アントレ資質に関するものが炙り出せるような設問を提供する。そして、このような設問に対する回答結果は、後述する分析部10に供給して基本質問に関する回答結果と共に分析を行っても良いし、別途、その結果を

データベースに蓄積しても良い。

【0023】なお、このような応用設問は、例えば、企業内において人材をより適した部所に配置しようとする場合であれば、所定期間毎に継続して設問を提供し（例えば持続性に関するテスト、行動精度に関するテスト、記憶力に関するテストのような継続型設問）、その結果を逐次データベースに保存しておいても良い。

【0024】上記診断装置1は、上述した回答結果を基に、実際のマッチングに関する診断・分析を行う分析部10を備えており、データ抽出部7aを介してデータベース7から所定のデータ（基本質問に関する回答結果）を抽出すると共に、入力された応用設問に関する回答結果を分析して、診断希望者と商品（企業、人、物、イベント等の各種サービス）との最適な適合度の診断を行う。

【0025】そして、このようにして得られた診断結果は、所定の加工を施した後、診断結果出力部12から通信網20を介して診断希望者の端末30や、各企業の端末40に配信したり、あるいは診断装置1から用紙形式で出力して、別途、郵送等によって診断希望者や企業に送付しても良い。

【0026】以上のように、診断希望者は、本来、個人が備えている属性（心理的な要素、性格的な要素、行動傾向等）に関するデータを予め所有しておくことで、診断希望商品毎に、類似した設問に対する回答を行う等、重複した診断を行う必要がなくなり、負担が軽減されると共に、企業等の商品サイドにおいても、そのようなデータを有効に活用することができるため、診断が効率的に行えるようになる。そして、必要に応じて、診断希望者に対し、そのときの気分や状態に影響されることの大きい要素を炙り出すのに必要とされる設問を提供し、その回答結果と併せて分析を行うことにより、より精度の高い診断結果を得ることが可能となる。

【0027】なお、上記した基本的な設問事項は、診断希望者のライフステージの変化に伴い、再度、設問事項を提供し、それまでの回答結果を新たな回答結果に書き換えたり、あるいは新たなデータとして蓄積しておいても良い。これは、結婚、出産等のように、ライフステージが変わると、本来、個人が備えている属性についても、配偶者や子供からの影響を受けて変化する傾向にあるからであり、このようなライフステージの変化に伴い、データを更に蓄積することで、その時々に応じた最適な診断結果を得ることが可能となる。

【0028】また、上記した応用的な設問事項についても、所定期間をおいて継続的に実施し、その回答結果をデータとして蓄積することで、その人の長期的な傾向を把握することが可能となり、上記基本的な設問事項に対する回答結果と併せて、より精度の高い適合度を得ることが可能となる。

【0029】次に、本発明の別の実施形態について説明

10

20

30

40

50

する。上述した構成では、基本的な設問事項に対する回答結果は、診断装置1のデータベース7に格納していたが、このような回答結果は、ID情報と共に記憶媒体50として各人が所有していても良い(図1参照)。このように、各人が、基本的な設問事項に関する回答結果を所有することで、診断希望者は、商品の設置場所に向いた際に、診断結果を得ることが可能となる。

【0030】例えば、多数の製品が陳列されている展示会場に、図2に示すような診断装置70を設置しておくことで、診断希望者は、そのような記憶媒体50を接続

することで、その人と製品のマッチングに関する最適な診断結果を得ることが可能となる。

【0031】この場合、診断装置70は、記憶媒体挿入部71と、そこに挿入された記憶媒体の情報を読み取る読取部72と、読み取った情報の内、その診断に適した回答結果のみを抽出する回答結果抽出部73と、画像表示部75a及びキーボードのように外部から情報を入力する入力部75bを備えた情報入出力部75と、回答結果抽出部73から抽出された回答結果と入力部75bから入力された回答結果を分析する分析部76と、こ

こでの分析結果を出力させる診断結果出力部77と、これら各部における情報の受け渡しや動作を制御する制御部80とを備えている。

【0032】上記構成において、記憶媒体挿入部71に挿入された記憶媒体50は、読取部72によってデータが読み取られ、回答結果抽出部73によって、その診断に適した回答結果のみが抽出される。また、診断装置70を操作する診断希望者に対しては、画像表示部75aから別途、応用的な設問を提供し、入力部75bを介してその回答結果を入力させる。そして、記憶媒体50から抽出された回答結果は、分析部76において、入力部75bから入力された回答結果と併せて分析が成され、所定の加工を施した後、診断結果出力部77を介して前記表示部74に表示させたり、あるいは診断結果出力用紙として出力される。

【0033】このように、診断希望者は、所定の設問事

項に対する回答結果が記録されている記憶媒体50を所持し、それを様々な場面に設置されている診断装置70に接続することによって、マッチングに関する最適な診断結果を得ることができる。

【0034】なお、この構成では、所定の設問事項に対する回答結果は、診断希望者各人が所有する構成としたが、通信網を介して接続されているサーバのデータベースに蓄積しておき、そして、必要とされる回答結果を、個々の会場に設置されている端末からID情報およびパスワードを入力して、上記通信網を介して抽出しても良い。また、診断希望者に対して応用的な設問を提供することなく、記憶媒体50から抽出された回答結果のみで、分析を行い、マッチングに関する診断を行っても良い。また、この実施形態においても、記憶媒体やデータベースに格納されている情報は、ライフステージの変化等に伴って、書き換えたり、新たな情報として蓄積しても良い。

【0035】

【発明の効果】本発明によれば、人と人、人と物、人と企業等の適合度を診断する際に、診断希望者に対して重複した設問を提供することがなくなり、適合度に関する診断をその都度、効率的に行うことが可能となる。また、実際の適合度に関する診断に際しては、気分や状態に影響を受けやすい要素に対する設問事項を別途提供し、その回答結果を併せて分析するように構成することで、より精度の高い診断結果を得ることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

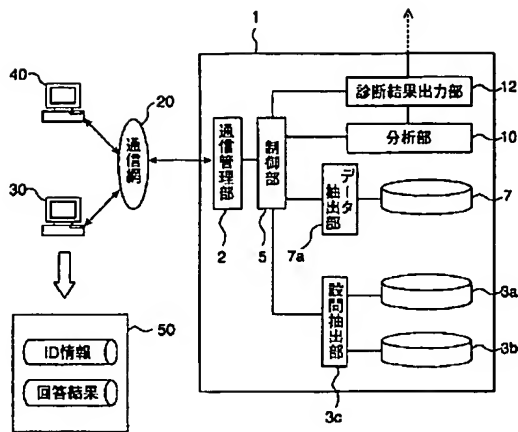
【図1】本発明に係る診断システムの第1の実施形態を示す概念図。

【図2】本発明に係る診断システムの第2の実施形態を示す概念図。

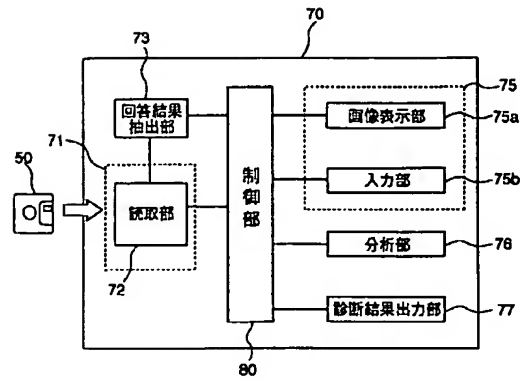
【符号の説明】

- 1, 70 診断装置
- 10, 76 分析部
- 12, 77 診断結果出力部
- 50 記憶媒体

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(72)発明者 菅原 勝寿
東京都台東区寿3丁目15番15号 株式会社
シタシオンジャパン内

Fターム(参考) 5B049 AA06 BB68 CC01 FF01 GG00